

平成25年度

「環境への取組について」（地球温暖化への取組）

総務部長 遠藤幹夫

○部の環境方針

1 環境への配慮について

- ・保健センターでの ESCO 事業の光熱水費等の削減量をモニタリングします。
- ・市役所本庁舎ほか計 7 施設を一括した ESCO 事業の ESCO サービスを平成 25 年 4 月 1 日から開始し、約 20,000 千円/年（計 260 百万円/13 年）の光熱水費等の削減を行います。
- ・生涯学習センターでの ESCO 事業の契約に向けて優先交渉権者と協議を行います。
- ・地域福祉センターでの ESCO 事業の実施に向け、プロポーザルコンペを実施します。
- ・全施設の全エネルギーをデータベースで把握し、光熱水費の削減に努める省エネ推進プロジェクトを引き続き実施します。
- ・小中学校で自主努力により削減した光熱水費の半額を上限としたキャッシュバックを行うインスクールエコを引き続き実施します。
- ・特定規模電気事業者（PPS）から電力を調達する 47 施設の 30 分ごとの電気使用量を分析し、効果的な節電対策を実施します。
- ・ファシリティマネジメントの考え方・ノウハウを活用した夏季の節電対策を実施します。
- ・生涯学習センターにおいて屋根貸し太陽光発電を実施します。
- ・小中学校の校舎屋上を活用した屋根貸し太陽光発電の実施に向け、事業者と協議します。
- ・離席時のパソコン・ディスプレイの節電を徹底します。
- ・会議資料の印刷は内容を集約し、紙の節約に努めます。
- ・職員は、執務時間外においても「ごみの分別や減量」「エネルギー使用量の削減」に取り組み、環境への意識向上に努めます。

○各課の環境目標・活動計画

流山市では、平成23年度から各課において環境への取組目標を設定し、全ての職員（臨時・嘱託職員を含む）が課の環境目標を記載した「環境カード」を携帯しています。これは、「ストップ温暖化！流山市役所率先実行計画」と「環境マネジメントシステム」を職員一人一人が自

覚し、日頃からの意識向上を目的に行っているものです。

課名	環境目標
総務課	グリーン購入の推進
総務課	不要になった紙の再利用
人材育成課、財産活用課、 総務課	用紙使用量の削減
人材育成課、財産活用課	電気使用量の削減
財産活用課	廃棄物発生量の削減
財産活用課	公用車使用の削減

○環境への取組の評価（平成25年度末に記入）

総務部は、財産活用課所管で、生涯学習センターをデザインビルド型の ESCO 事業により、電気・空調設備等の更新工事を実施し、環境負担の軽減を図りました。また、自動車を入れ替える場合は、支障のない限り小型化やハイブリッド車の導入を進めました。

総務部各課においては、平成25年度当初に取り組み目標を明確にし、また部の環境方針に基づき、環境への負担軽減に努めました。離席時のパソコンディスプレイの節電やごみの分別等、個々の職員による環境への配慮については徹底したところですが、総務部内の用紙使用枚数が前年比で増加し、使用枚数の目標数値達成には至りませんでした。主な理由としては、総務部所管で開催した職員向け研修の増加に伴い、配付資料が増加したことが挙げられます。今後は、資料の集約や省力化に努め、また環境ピックアップシート等をより活用し、用紙使用枚数の削減に努めます。